

NEXT

55



みんなの力で、みんなの幸せを

SAWARABI

さわらび

- 1** **表紙** お買い物ごっこ～福祉村保育園～
- 2** **医学
講話** 「認知症の人みんなの幸せネット」バリデーション・ブレイクスルー
～その四 バリデーションの14のテクニック～
◆福祉村病院 院長 小橋 修
- 6** **特集** 衛生用品の備蓄強化で災害に備え
～新型コロナウイルス感染症流行で求められる防災とは～

2020
vol.569

9



医学講話

福祉村病院 院長 小橋 修



「認知症の人みんなの幸せネット」

バリデーション・ブレイクスルー 〜その四バリデーションの14のテクニク〜

バリデーションテクニク①から⑨に引き続いて今回は最後のテクニク⑩から⑭と症例提示をします。

テクニク⑩
ミラーリング
(当事者の動作や感情を観察して相手に合わせる)

「日時や季節の混乱」している人や「繰り返し動作」をする人は、ちょっとしたこと、感情を抑えることなくすぐに爆発する特徴があります。このような人とのコミュニケーションには、当事者の緊張してこわばった顔つき、目の様子、顔色の変化、息づかい、

椅子に座っている様子、足の位置、全体の様子をしっかりと観察します。興奮して歩き回っているときには、介護者も一緒に歩き回ります。荒く息を吐くときは介護者もまねします。このように同じ行動(ミラーリング)を

することに、お年寄りの感情を共有・共感したものとして徐々に、信頼関係を築けることがあります。タ イプを打っているときのようにしきりに指を動かし続けているときには、介護者もタイプライターを打つようにその指の動きに合わせるようにミラーリングすると、そのうちお互いの息が合うようになりいろいろな会

話が進められるようになり、当事者は自分のことをわかってくれている人がいると安心するのか、次第に繰り返し行動が減ってきます。

テクニク⑪
当事者の行動の裏に隠された、満たされていない欲求がある

ほとんどの人は、生まれてからこの方、愛されたい、大事に育んでもらいたい、活き活きと仕事に取り組みたい、何かに没頭したいと思っても日々の仕事に追われて、それらが十分に満たされないまま、年老いてから、それらの心の内に秘めていた感情が

別の形で表に現れてくることがあり、問題としてレットルを貼られて、抑制させられることが多いので注意が必要です。

九十三歳の女性、丁寧(紙ナプキンをたたんでいます。シワを一本一本丁寧に伸ばし、それは、それは注意深く重ね合わせていました。ウエイトレスがつかつかと寄ってきて、お年寄りの手からナプキンを取り上げたところ、あらん限りの声を出して「助けてー助けてー」と叫び始めた。このような時、周囲の人たちに迷惑が掛からないように車椅子に拘束をしたり、あるいは抗精神病薬などを飲ませたりしますが、バリデートする介護者が、ナプキンを取り上げるのではなく、お年寄りと一緒に、ナプキンのシワを一本一本伸ばしながら付き合うようにすると、お年寄りは微笑み、ナプキンをなで「マ、マ、マ、愛してるわ」とつぶやいたりします。このお年寄りにとって、ナプキンは柔らかな

愛しいお母さんになっていくのです。このように行動の裏にはそれぞれの人の特有の理由があることを理解して、見分けて対応することが大切

テクニク⑫
当事者の好みの感覚を使うことができる大きな効果を生む

ほとんどの人には、その人が好んで使う感覚、なじみの感覚があります。視覚や嗅覚優位の人、あるいは、触覚や聴覚優位の人など、お年寄りの好みの感覚を知り、それを巧みに利用してコミュニケーションを取るきっかけにすれば、信頼関係を築く一つの良い方法になります。介護者がその人の言葉を使って話す(リフレージングする)と、容易にその人の世界に入っていくことができるからです。その人が言っていること、言おうとしていることに意識を集中して、注意深く耳を傾け、観察します。その人に

同調して、その人の過去の経験を思い出していただいて、それについて語ってもらい、それを傾聴すると良いでしょう。

テクニク⑬
タッチング
(タクテイルセラピー・マッサージ)

タッチングというテクニクは、「認知の混乱」にいる人に触れると防衛反応が強くなって逆効果になります。しかしそれ以外の多くのお年寄りには大変よい効果をもたらします。視覚や聴覚が衰えると、自分の殻に閉じこもり孤立しがちになります。このようなときに優しく触れることによつて他の人がいることを感じ、独りではないという感覚がよみがえり大変良い効果をもたらします。以上の⑩から⑬までは、ペットの効果としてよく見られる効果です。(看取り犬・文福 人の命に寄り添う奇跡のペット物語を参考に)

テクニク⑭
当事者にとって懐かしい音楽を使う、音楽療法

言葉を失うと、若い頃何度も歌ったメロディが蘇ってきます。認知症がかなり進んだ人でも、話すことはできなくても、子守唄なら最後まで歌えることがあります。その意味でも個別音楽療法は、信頼を築く上で大変有効です。

さて、個別バリデーション(テクニク①から⑭)について、その基本的な共感、傾聴による超コミュニケーション法とその効果について述べてきました。だが、次回はグループバリデーションについて、個別バリデーションとは趣を異にするので、その特徴を学び、普段の日常生活に役立てることを目指して学びましょう。

さわらび誌掲載号

- ◆二〇一九年三月号
「バリデーションブレイクスルー(その一)共感と傾聴の超コミュニケーション」
- ◆二〇一九年九月号
「バリデーションブレイクスルー(その二)認知症の四つのステージ」
- ◆二〇二〇年三月号
「バリデーションブレイクスルー(その三)テクニク①から⑨バリデーションの基本理念(原則)と、人生の各段階における生涯発達理論」
- ◆二〇二〇年九月号
「バリデーションブレイクスルー(その四)テクニク⑩から⑭」
- ◆二〇二二年三月号(掲載予定)
「バリデーションブレイクスルー(その五)グループバリデーション」

研究通信

news of study

Vol. 149

名古屋市立大学大学院医学研究科地域医療
教育分野(地域療養医学分野兼務)特任教授

赤津 裕康

「終活」と「人生会議」とACP(アド
バンス・ケア・プランニング)Part I

本号から四回にわたり(連続にな
らないかも知れませんが)「人生会
議」に関するテーマでお話をしてい
きたいと思います(研究通信として
はふさわしくありません)。

今回は終活と人生会議/ACP
(アドバンス・ケア・プランニング)
についてお話しします(今回は主
に用語説明になります)。

「終活」は人生を終えるための活動
ですね。若い方(学生さんですが)に
馴染みがあるのは就活ですね。「終活」
は最近の言葉で平成二十一(二〇〇
九)年の週刊誌の連載を契機に関係
する書籍の発刊が増え平成二十四

(二〇二二)年の新語・流行語大賞で
ベストテンにも入りました。「終活」
をスムーズに進めるための「エンデ
ィング(終活)ノート」も書店には何
種類か置かれています。さらに昨年
では、「終活」に関する民間団体やN
PO法人もいくつかあり、それぞれ
が資格認定制度を設けていますが、
元来、住居・教育・老後などライフ
プランニングに即した資金計画やア
ドバイスを行うファイナンシャルプ
ランナー出身の方が多く遺産や持ち
物、住居、年金・預貯金、相続、葬式、
お墓などをどの様に整理するか、「手
続き的」なイメージが強いかもしれ
ません。また、エンディングノートは
我々、医療者の目で観ると医療・介
護面に物足りなさを感じてしまいま
す。

「人生会議」はご存知ですか?人生
の最終段階における医療・ケアにつ
いて、本人が家族等や医療・ケアチ
ームと繰り返し話し合う取り組み、
「ACP」の愛称です(厚生労働省の
ホームページには平成三十年十一月
三十日付)。「人生会議」は「終活」に比
べてまだ市民権の薄いACPを広く

国民に広める目的で親しみやすい愛
称として命名されたものです。

人生の最終段階における医療・ケ
アをどう受けるかは十人十色です。
あえて「受ける」と記載したのは、
福祉村病院にみえる方も含めて選べ
ない状況に置かれている方が多いの
が現状です。しかし、本来医療やケア
は受動的に「受ける」ものではなく、
自らが主体的に「選ぶ」ものです。「選
べない」状況になっても、自分の希望
を叶えるために事前に選んでおきま
しょう」と言う事で、アドバンス(前
もって)・ケア(医療や介護を)・プ
ランニング(立案・選択)するための
話し合いを愛称で「人生会議」と呼び
ましょうということになりました。

これに先立ち、厚生労働省の「人生
の最終段階における医療の普及・啓
発の在り方に関する検討会」が平成
二十七(二〇一五)年三月に「人生の
最終段階の決定プロセスに関するガ
イドライン」を発表しており、その改
訂版が平成三十(二〇一八)年三月に
出されています。

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000197665.html>)

改訂では介護従事者を含めた医
療・ケアチームがその時々々の本人の
心身の状況の変化に応じて医療・ケ
アの方針や、どのような生き方を望
むかなどを、日頃から繰り返し話し
合うこと(「人生会議(ACP)」)の
重要性が強調されています。また、そ
の内容は文書としてその都度まとめ
て家族等(親しい友人を含む)と医
療・ケアチームで共有すること、さ
らに意思が伝えられなくなった時の
代理人を決めておくことの重要性が
強調されています。

日々、高齢の方の医療や介護に携
わる立場にある者として今一度ガイ
ドラインを覗いていただき、活用して
いただければと思います。



医療法人さわらび会 福祉村病院 地域包括ケア病棟

2020年8月より、福祉村病院1病棟1階を「地域包括ケア病棟」に変更いたしました。

地域包括ケア病棟は在宅復帰にむけて、医療管理、診療、看護、リハビリテーションを行う病棟です。入院期間は60日と制限がありますが、退院先でも継続して安心した生活が送れるよう、ご本人・ご家族を中心に、多職種チームで退院後の準備をさせていただきます。

また、医療法人さわらび会では、地域包括ケアシステムの体制をさらに強化するため、訪問看護ステーションさわらびを7月27日より福祉村内に移転いたしました。

地域の皆様が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、今後もさわらび会全体で、取り組んでまいります。

病棟担当者紹介



医師
山本 高也

地域包括ケア病棟はこれまでも試験的に運用されており、私が担当してきました。患者さんにご高齢であったり多くの持病をお持ちだったり様々です。カンファレンスしながら、患者さんそれぞれに適した退院先を検討しています。その人に合った生活の場への退院を目標とするには、より看護師、リハビリスタッフ、医療相談員の方々との連携が重要となります。患者さんのためにスタッフ全員で頑張っていきます。よろしくお願ひします。



看護師長
海川 みすず



入退院調整看護師
杉浦 直美



作業療法士
船藤 悠太



医療ソーシャルワーカー
木暮 ひろみ

『訪問看護ステーションさわらび』が移転しました

住 所 豊橋市野依町字山中19番地の1(ジュゲム1階デイケア隣)

電話番号 (0532)46-7755



管理者
尾木 みどり

この度、八町からジュゲムの1階に事務所が引っ越ししました。今まで福祉村病院からは離れた場所でしたが、こうして近くで安心して職務に当たることができますので、より一層連携を深め、地域に貢献していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



新しい事務所の様子

特集

衛生用品の備蓄強化で災害に備え ～新型コロナウイルス感染症流行で求められる防災とは～

近年は大型台風や集中豪雨により、水害・土砂災害が頻発。福祉施設にも一層の災害対策強化が求められています。そんな中、今年も新型コロナウイルス感染症対策という、もう一つの新たな課題が持ち上がりました。さわらび会としてできることは何か。さまざまな試行錯誤の中、利用者様の命を守るための取り組みを紹介します。

さわらび荘の取り組み

近年の大型台風の接近や線状降水帯による集中豪雨により、河川の氾濫、土砂災害等の災害が各地で発生しています。記憶に新しい災害だけでも、大型台風被害では昨年の台風十五号は千葉県を中心に長期間の停電などを引き起こし、台風十九号では台風接近に伴う豪雨により関東地方に甚大な被害をもたらしました。

また豪雨災害では、平成二十六年八月の広島市の土砂災害、平成二十七年九月関東・東北豪雨災害、平成二十九年七月九州北部豪雨、平成三十年七月西日本豪雨そして、今年七月九州各地や長野県、岐阜県での豪雨災害など、毎年のように豪雨に伴う災害が発生しています。

これらの災害の中には、高齢者施設で被害が発生し、施設入居者の皆様が被災されるケースもありました。毎年のように大型台風や豪雨による災害が発生している状況の中、さわらび荘でも大型台風や豪雨に対する備えを早急に進める必要があります。幸い、さわらび荘は高台にあり、周囲に崖などもない住宅地に位置をしているため、豪雨等により施設から入居者様を避難しなければならぬ必要性は高くありません。

災害時に速やかに非常用物品を使用できる体制を作るため、また水による被害を避けるため、非常食や非常

用毛布、ガスコンロ等の保管場所を、従来の地下倉庫から一階中庭に設置した倉庫へ移動しました。



防災倉庫

特に昨年の台風十五号による被害では、長期間の停電により日常生活に大きな影響を及ぼしました。大型台風や豪雨により長期間の停電が発生する可能性も高く、また高齢者の方の施設であることから、電気に関する部

分を頼って運営をしている状況があります。長期間の停電を想定して、非常食の炊き出し訓練、非常用発電機の取り扱い訓練を実施し、特に今回は動画で撮影したものを業務の都合で勉強会に参加できない職員も必ず視聴し、保管場所や取り扱い方法の習得を進めています。非常食の準備、炊き出しにプラスして一部の入居者様が召し上がっている常温で保管できる栄養補助食品の在庫を積み増すことで、非常時に食事として提供できる体制作りを進めています。

また、さわらび荘では重度の方も多く生活をされていることから、エアーマットなど電力を必要とする介護用品を使用されている方も多くお見え



非常食炊き出し訓練

になります。そのような方に対し、今後低反発マットレス等の準備を進める必要があります。

さらに、今年は新型コロナウイルス感染症に対する準備も必要になります。特に被災したことを想定した場合で、併せて感染症に対する取り組みを行う必要性があり、マスクやフェイスシールドの在庫を今のうちから積み増すこと、使い捨てがウンや手袋などの衛生用品の確保、消毒液の確保など、水が潤沢に使えないことも想定した準備を進める必要があります。

次期介護保険事業計画策定に伴う国の基本指針でも、感染症や災害に関する項目を新たに追加すると発表がありました。入居者の皆様の安全な生活をお守りするため、これからも様々な場面を想定して準備を進めてまいります。

(渡辺憲)



豊橋市洪水ハザードマップ

<https://www.city.toyohashi.lg.jp/3396.htm>

(豊橋市ホームページより抜粋)



洪水浸水の深さの目安

大人でもおぼれる危険性のある深さ

屋外での避難行動が困難になる深さ

子どもの避難行動が困難になる深さ

10.0m 2階の建物が水没、3階以上の建物が浸水する深さ

5.0m 2階天井まで浸水する深さ

3.0m 1階天井まで浸水する深さ

1.0m※

0.5m

0.3m

※1階が浸水するおそれがある区域は、早期の立退き避難が必要です。

色が塗られていないところでも浸水する可能性があります。

このマップの浸水予想は、一定の条件(シナリオ)を元に行った計算結果によるものであり、必ずこのとおりになるとは限りません。色が塗られていないところでも浸水する可能性があるため十分注意しましょう。



医務室

また、災害時は様々な感染症が流行しやすく、先の東日本大震災ではインフルエンザ・ノロウイルスが流行しました。現在、流行している新型コロナウイルスを含めて対策を検討していきたいと思えます。

珠藻荘は一階が事務所・厨房、二階が医務室・リハビリ室・ホール、三階から五階が居室となっております。

珠藻荘の取り組み

珠藻荘は災害時に入所者様の安全を守るだけでなく、近隣地域の障がい者及びそのご家族の方々も守る避難所としての役割もあります。避難されてみえる方の数も含めた食料・水・毛布・テント・寝袋等また、トイレ用品や衛生用品などの備蓄を行っております。



リハビリ室



ホール

そのため二階のスペースを使うことで入所者様と分けて収容することが出来ます。また、二階には障がい者用トイレが男女合わせて四つあり、一般的な流し台も設置されています。備え付けのパーテーションで区切ったり、いくつかある小部屋を使うことで状態に応じて使い分けることが出来ます。幸いなことに医務室が中央にあることで各部屋へのアクセスも良く、二階を上手く活用したいと考えております。



障がい者用トイレ



流し台



小部屋

そのようなハードを活かすために、リスクアセスメント用紙やマニュアルの整備、マスク・フェイスシールド・ガウンなどの衛生用品や段ボール・新聞紙など使えそうなものなどの備蓄も進めています。

そのほか、職員に関することとして、業務スマホでのラインワークスによる一斉連絡、及び電話回線による連絡網の整備の他、災害時の職員の通勤

経路とその手段を把握することで安否確認と出勤の可否を確認できるようにしております。

また、定期的に実施している避難訓練や炊き出し訓練では、避難場所やその経路の確認の他、プロパンガス、発電機の使用を全職員が行えるよう学習の機会を設けております。

(村木)

あかね荘の取り組み

災害時に備え、水や非常食等の食料品、オムツ等の日用品等、備蓄品を準備しております。

今日のあかね荘では、重度高齢化の利用者様も増え非常食の見直しと新たなメニューの検討が行われています。嚥下困難の方のためにペースト食を取り入れたり、パン食が詰まるリスクが高いのでパンを中止し、代わりにお粥の味のバリエーションを増やしたり、ハンバーグなど柔らかくくだれでも食べられるおかずをしたりしました。今後利用者様に合わせたメニューやまた使いやすい使い捨て食器等を検討していきます。



非常食

また、新型コロナウイルス感染症対策の準備も進めています。それぞれ災害時や感染症発生時に使用した備蓄品は、その都度補充していきます。

今後の取り組み・課題として、災害時に感染症が起きた場合です。さらに大量の備蓄品の消費が考えられます。その事態に備え、各部署の職員と連携を図って備品の管理をしっかりと行っていこうと思います。(朝食)



備蓄管理

明日香の取り組み



避難訓練

明日香では、水や非常食や日用品の備蓄を行っています。その他にも、消毒液やマスクの備蓄も積極的に行っていきます。明日香は日中の活動場所と言うこともあり、非常食の数も利用者様の定員数七十名に、職員数三十名、計百食を一日分として、三日分備蓄しています。実際に災害が起きた時、古くなって使えなくなるといったことを避けるために、小まめに期限を確認したり、保存状態を確認して新しい物と入れ替えるようにしています。日用品も衛生面を考えて数か月ごとに新しい物と入れ替えをするように心掛けています。その他にも、毎月避難訓練を行っています。以前は各事業点呼が取りやすい

い様に固まって集合していましたが、感染症対策として人との距離を意識しながら集合する様に職員が声掛けを行って意識付けを行っています。その他にも、障がいのある方が一般の避難所に避難すると言うことは大変なことなので、明日香では災害時、利用者様やご家族の避難場所として受け入れできるように避難所体験としてご家族も参加していただく避難訓練も行っています。市の防災危機管理課の方に来ていただき利用者様でも分かるように講演をしていただいたり、段ボールベットの作り方、炊き出し訓練も行い、数年前には一泊施設に宿泊をする体験も行いました。



ダンボールベット

この新型コロナウイルス感染症が流行している中で、災害時の受け入れとしてとても難しいところではあります。が、ソーシャルディスタンスを保てるように工夫をして受け入れ態勢を整えたいと思っています。

(岸)

しらがねの取り組み

断水への備え

備蓄品として食器用ラップ、ウェットタオル、非常用トイレ袋、口腔ケアウエットティッシュ、ドライシャンプー、給水用折りたたみ式ポリタンクを備え、飲料水以外の生活用水の確保ができるように、容量二二〇ℓの雨水タンクを設置しています。給水タンクとして運ぶこともできます。



雨水タンク

停電への備え

携帯用発電機(ガソリン用一機、ガス用二機)を準備し、年二回の使用方法習得訓練を行い、二か月ごとに点検しています。また、ガスコンロによる炊き出し訓練も年二回行っています。



携帯発電機の使用方法習得訓練

感染症への備え

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザへの対応として防護服、防護キャップ、マスク、ビニール手袋、フェイスシールドを使用しています。その他、段ボールの避難所生活用間仕切りと室内用テント三平方メートル(囲い用)はプライバシーを保護し、飛沫防護にもなると考えています。(住吉)



感染症への備え



炊き出し訓練②



炊き出し訓練①

技能実習生への日本語 勉強会を始めました

〈特別養護老人ホーム 第二さわらび荘〉

第二さわらび荘では今年の一月より四名の技能実習生の受け入れを行っています。技能実習生は介護技術を学びに日本へ来ておりますが、介護技術だけでなく一定のレベルの日本語も身に付けていただく必要があります。

そこで第二さわらび荘では、週三回の日本語勉強会を始めました。この勉強会には福祉村病院のEPA介護福祉士候補生と技能実習生、ジューゲムのEPA介護福祉士候補生も参加しており、講師は第二さわらび荘の施設長や職員、福祉村病院の職員が務めております。

技能実習生の皆さんにより多くの介護技術や日本語を学んでいただくことは沢山の幸せを守ることにつながりますので、これからも支援を継続してまいります。

(塩見)



2020年ファッションショー

〈グループホーム フジ〉

七月一日、グループホームフジではファッションショーを開催いたしました。新型コロナウイルス感染症予防対策として時間を分け、ユニットごとに行っています。レッド、ピンク、パープル、ブルーなど、好きなドレスを自由に選んでいただきメイクもすると、皆様は華やかに変身されました。手作りの花道では、素敵なポーズを決められ拍手喝采でした。六月入居のご家族様にその時の写真をお見せした所、「久しぶりにお化粧をした、元気があった頃の母を見ました。」と、とても喜んでくださいました。この日から、お化粧が日課となり、笑顔が増えてきました。認知機能の向上も感じられます。嬉しいファッションショーになりました。

(白井)



荘内における明日香の作業について

〈障害者支援施設 珠藻荘〉

新型コロナウイルス感染症が流行する以前に珠藻荘の中で作業能力の高い利用者様が明日香に週一回通い作業を行っていました。しかし現在は新型コロナウイルス感染症予防として他施設利用を自粛しているため、今月より作業物資を珠藻荘に運んでいただき行うことになりました。

その結果、作業を行う利用者様の日常生活にメリハリができてきました。ご自身も明日香に通っていたころのように作業を行うことについて「楽しい」と言われ、表情も明るくなっています。今後も継続して積極的に作業を行っていただけるよう職員も支援して参りたいと思います。

(佐宗)



自治会の希望に応える 施設活動

〈軽費老人ホーム 若菜荘〉

若菜荘では七月七日に毎年恒例の七夕飾りを行いました。例年ならば長寿と健康を願う短冊が多いのですが、今年は新型コロナウイルス感染症に関する内容が非常に多く、外出自粛のストレスが伺える短冊もありました。

新型コロナウイルス感染症対策が長引くともに入居者の皆様へのご負担も拡大する傾向にあるため、自治会の希望に応じて映画鑑賞会の回数を増やすなど、普段の生活をより楽しくする為の取り組みを行っております。

(石田)



防犯対策シミュレーション

～福祉村病院～



左から2番目が加害者役

当院では緊急時に対応できるよう、各フロアーにて定期的にシミュレーションを行っています。七月十六日、介護医療院二階では第三者が利用者様又は職員へ暴力を振るった場合を想定してシミュレーションを行いました。マニュアルに沿い何処でどう対応すれば良いのかを実践し、実施後スタッフから、「フロアーに男性スタッフがいない場合はどうすればいいか？」等積極的に意見が出されました。緊急時に落ち着いて行動ができるよう、今後もシミュレーションを行っていききたいと思います。(村井)

コロナに負けない体力を!

～福祉村地域包括支援センター～

七月六日・野依校区「桜寿会」に於いて十一名の方に、また、七月十一日・野依校区「元気会」に於いて十一名の方に参加いただき、健康講座とアンケートを実施させていただきました。そして七月十七日は芦原校区老人会「みどり会」に於いて参加者十五名の方にも同様に健康講座とアンケートを実施させていただきました。講座では、新型コロナウイルス感染症予防の対策としてマスクの着用や手指消毒をしっかりと行い、三密を避けてお互いにスペースを取り、換気をしながら気を付けて実施しました。豊橋エール体操も好評でしたが、マスクを着用しての体操は息も上がり疲れ易いため、給水を兼ねてこまめに休憩しながら行いました。参加者の皆様には笑顔も多く見られ「久しぶりに楽しかったよ。」などの感想をいただきました。(渡邊)

熱中症対策について

～障害者支援施設 珠藻荘～

本格的な夏を迎えるにあたり、六月より熱中症への対策強化に取り組んでいます。珠藻荘では通常一人当たり一日の水分摂取を1.5ℓを目標にしておりますが、重度化や高齢化が進み目標に達していない利用者様も見えます。そこで、入浴後であれば比較的飲んでいたかきやすいのではと考え、入浴後の水分補給を始めることにしました。以前より浴室入り口には自由に飲んでいただけの水を用意していましたが、新たに職員を配置し、楽しい雰囲気の中で水分摂取していただけるよう心掛けて参りました。今では皆さんにたくさん飲んでいただけるようになりました。(佐宗)



七夕会

～福祉村保育園～



7月7日/若菜荘自治会よりいただいた笹に七夕の飾り付けをしました。

～福祉村障害福祉サービス事業所 しろかね～



7月7日/みんなで七夕飾りをたくさん作りました。

～障害者支援施設 あかね荘～



7月9日/あかね荘で七夕会を実施致しました。

小さな花壇の住人たち

―谷さゆり―

ジユゲム北側出口から福祉村公園へ向かう道の途中、正面左手に小さな花壇が見えてきます。この花壇には特別な力を持った植物たちが暮らしています。

フェンネル

ウイキョウの和名で知られるフェンネルは食用や化粧品、さらに薬の原料として古くから用いられています。西洋の魚料理にふわりとした羽のような鮮やかな黄緑色の葉が添えられ、食べるとすっきりした甘い香りと苦み、消化促進と消臭効果で魚料理をより一層引き立てます。果実を干して乾燥させ得られた種子を煎じたものは胃炎や腹痛に、食べすぎ、飲みすぎ、胃もたれ、消化不良には種子をそのまま飲んだりします。漢方薬や胃腸薬の原材料としても使われます。



学名:Foeniculum vulgare
和名:ウイキョウ 英名:Fennel
科名/属名:セリ科/ウイキョウ属

Vol. 150
relay column

さわらび会 のわ

福祉村地域包括支援センター
渡邊 典子



我が家の変身猫を紹介します。名前が「ミルク」、捨て猫の茶トラ母と多分口

ン毛のどこかの父猫とのミックスでした。「ミルク」ではなく「ピー」と鳴く赤ちゃん猫の時はまるでぬいぐるみのようにめつちや可愛くて、家族全員一致で飼うことになりました。成猫になって若さ満々の数年は10cm余り程のキラキラ毛を風になびかせる美猫でした。ところがある猛暑を迎えた夏にゴッソリと自慢のロン毛が抜け、とても同じ猫には思えない程に変身しました(写真参照)。この時は又冬になればフサフサと生えてくると思っていたのですが、以降あのきれいなキラキラロン毛は生えてきません。時が過ぎ、我が家の大事な家族になって今年で十九年目になり、化け猫の風体? になりつつ変化しました。年々腰が落ち、目が窪み視力も衰え、トボトボと歩いて失禁するようになり、夜はオムツをしています。最近では認知症状も出て、食事を何回も要求してきます。まるで自分の老化を見るようです(笑)が、今後穏やかに最期を迎える時迄、家族みんなで見守っていきます。



▲冬バージョン



▲夏バージョン



私のぞんやん

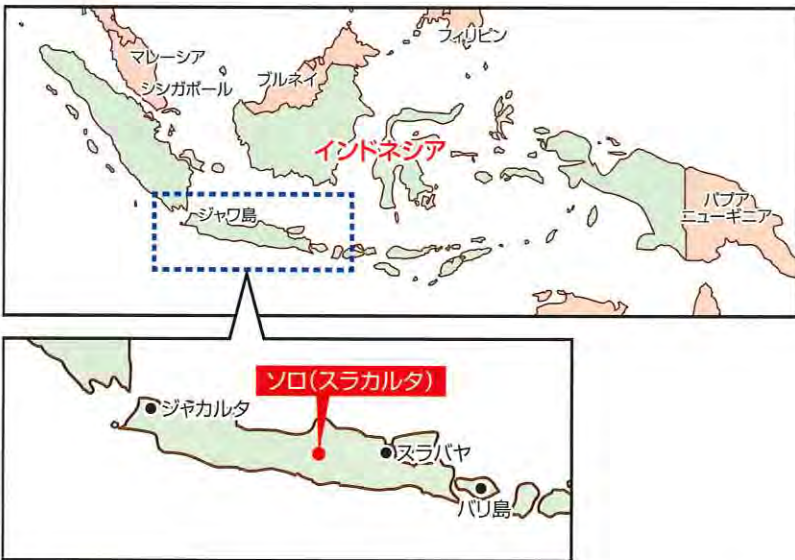
障害者支援施設 珠藻荘
 アデイプラセティヨ
 出身 ● インドネシア
 中部ジャワ州スラカルタ
 学歴 ● STIKES KUSADA SURAKARTA
 資格 ● 介護福祉士

はじめまして。私は珠藻荘のEPA介護福祉士のティヨと申します。インドネシアの中部ジャワ州のソロ（スラカルタ）から参りました。ソロでお勧め観光スポットをご紹介します。まずカスナナン宮殿です。昔ソロは王国でした。一七四五年にバクブウォノ二世によって建てられ、町のシンボルとされています。入口の後ろに見える八角形の塔は、パダン・ソングブウォノ（世界の塔）と呼ばれています。敷地内にある博物館には、宮殿の家具や、古い装飾品、肖像、ワヤン人形など豊富なコレクションが展示されています。

ソロでは昔からバティック（ジャワ更紗）を作っています。村を訪れた人は、バティックを作るプロセスを見ることができ、また手描きのろうけつ染めを体験することができます（体験をする場合は午前中に訪ねましょう）。カウマン地区にはバティックの専門店が点在し、ラウエヤン地区はバティック工房が多く、下町散策が楽しいエリアです。ソロ市内から車で約30分、ソロ市内から北郊外へ約18kmの場所に位置するスラゲンは化石の宝庫です。一九三六年にはジャワ原人の頭蓋骨が

発掘され、世界遺産に登録されている博物館ではそれらの化石の一部や考古学資料が展示されています。ソロ市内から車で約60分、ソロから東郊外へ約30kmの場所にあるスクーヒンドゥー寺院も有名です。一四三七年に建造され、中米のマヤ文明のピラミッドと形が酷似しています。敷地内にはヒンズー教の神話や動物、エロティックなレリーフが並び、中庭中央には生殖器を象徴したリングとヨーニが彫られています。その帰りに、寺院からタワンマンガまでラウ山の山道を、高さ30mのジユモグ滝を見ながらハイキングするのもお勧めです。

インドネシア 中部ジャワ州周辺の主要都市



第77回 さわらびキッチン 栄養士のつぶやき

第二さわらび荘 管理栄養士 森下愛佳

いくぶん残暑もやわらぎ、夏から秋へパトントンタッチする季節となりましたね。美味しい秋の味覚に、暑さで疲れた体を元気にしてもらいましょう。今回はその中でおススメの鰹と柿についてお話します。

① 鰹

鰹の旬は春と秋の年2回で、春の鰹は初鰹、秋の鰹は戻り鰹と呼ばれます。戻り鰹は初鰹と比べ、エサをたっぷり食べており、魚体も大きく、脂がのこっていてトロ鰹と呼ばれます。たんぱく質が非常に多く、血合いのところには、ビタミンB12、ナイアシン、鉄を多く含んでいます。とくに赤血球の生成を助け悪性貧血を予防したり、神経の働きを支えたりするビタミンB12は、魚類の中ではトップクラスです。にんにくと一緒に食べるとにんにくが鰹のうまみを引き立て、かつおに含まれるビタミンB1の吸収を助け疲労回復に働くのでおススメです。

② 柿

柿は豊富なビタミンCをはじめ、ビタミンB1やビタミンB2、カリウムや食物繊維などが豊富です。ビタミンCは柿1個で日の必要量をほぼ賄えるくらい含んでいます。疲労回復、かぜの予防、老化防止に期待できます。

秋の食材は美味しくついつい食べ過ぎてしまいますが、食べすぎには注意して秋の食材を上手く取り入れ残暑を乗り切りましょう。



◆病院シグマ

- 7月14日 看護部主任会議
- 15日 病院幹部会(理事長ゆかり副理事長 山本COO出席)
- 16日 豊橋市社会福祉協議会主催の認知症座談会(三ヶ丘地域福祉センター)にて伊刈弘之副院長が助言
- 19日 日経出版主催の公開セミナー(第7回部ビル福岡市)にて認知症ケアマスター第2回(上級コース)を伊刈弘之副院長が講義
- 21日 衛生委員会
- 22日 豊橋みなとライオンズクラブ例会(理事長出席)
- 27日 感染対策委員会
- 28日 経営企画会議(理事長ゆかり副理事長 山本COO出席)
- 29日 医療安全委員会
- 30日 CPC(理事長出席)
- 31日 施設看護師合同会議

◆さわらび 白珠常盤

- 7月7日 技能実習 責任者講習(施設長 渡邊憲 藤原島全)名古屋
- 8日 石巻民生定例会(白井秀松 石巻地区市民館)
- 9日 愛知県住宅介護支援事業者連絡協議会運営委員会(白井秀)名古屋
- 16日 保健師会(松ノゾウ)
- 21日 技能実習 指導員研修(柴田竹 鈴木啓山)名古屋
- 22日 西郷老人クラブ(白井秀松 下鳥居熊谷松井森山右馬 西川若能練習場)
- 30日 介護認定審査会(施設長 市役所)
- 8月3日 認知症施策推進検討部会(白井秀 あいこ)ア
- 4日 愛知県国民健康保険団体連合会介護給付費審査会(施設長)名古屋
- さわらび 荘関連施設経営会議

◆第二さわらび 荘・カサテローザ・カサテヴェルテ・カサフランカ・天伯・フジ

- 7月6日 カサフランカ誕生会
- 7日 技能実習責任者講習(小久保)名古屋
- 8日 愛知県社会福祉協議会理事長会(山本施設長)名古屋
- 9日 愛知県民間社会福祉事業職員共済会理事會(山本施設長)名古屋
- 10日 技能実習指導員講習(白井)名古屋
- 14日 生活指導員講習(鈴木洋中木)名古屋
- カサテヴェルテ誕生会
- 9日 技能実習責任者講習(増元)名古屋
- 生活指導員講習(沼辺 鷲塚 大野杏)名古屋
- 10日 技能実習指導員講習(浦)名古屋
- 14日 社会福祉法人経営者委員会正副委員長、社会福祉施設委員会常任委員 制度政策予算対策小委員会正副委員長合同会議(山本施設長)名古屋
- 愛知県認知症施策推進会議(山本施設長)名古屋
- 21日 技能実習指導員講習(横山 加藤美 松原)名古屋
- 22日 第二さわらび 荘誕生会
- 31日 愛知県社会福祉協議会予算要望書提出に關わる愛知県名古屋市訪問(山本施設長)
- カサフランカ誕生会(夏まつ)
- 5日 カサフランカ誕生会(夏まつ)
- 7月22日 シャトーコース八町
- 生活指導員講習(松松)名古屋

◆珠藻荘

7月8日 明日香商品販売

◆フリス福祉村

- 15日 のんびりビックニック利用者ら名参加(赤羽根ロコステーション)
- 令和2年度第1回障害者児福祉実施計画策定会議(鳥居 あいこ)ピア
- 16日 現場リーダー研修(木 鳥居)
- 17日 重度障害者生活上委員会
- サービス評価委員会
- 21日 感染症対策リスク管理委員会
- 22日 重度障害者のためのおやつの日(22日)
- 29日 パストライブ外出利用者ら名参加(蔵王山展望台)
- サマーフェスタ2020
- パストライブ外出(利用者ら名参加)蔵王山展望台
- 利用者支援全体会議
- 自治会役員会
- 8月5日 自治会役員会

◆フリス福祉村

- 7月7日 採用面接(山本ゆかり専務理事)
- 8日 ケアマネ会議(柴田)第二さわらび 荘
- 7夕会(名産)
- 9日 認定審査会(長坂施設長 豊橋市役所)
- 10日 採用面接(山本ゆかり専務理事)
- 13日 文化祭実行委員会(瀧)
- 14日 習字クラブ
- 15日 フラワーアレンジメント(3階)
- 病院幹部会(長坂施設長)
- 20日 採用面接(山本ゆかり専務理事)
- 21日 技能実習責任者講習(長坂施設長)名古屋
- 22日 技能実習指導員講習(鈴木康)名古屋
- 27日 技能実習生活指導員講習(小村)名古屋
- 28日 7月誕生会
- 29日 採用面接(山本ゆかり専務理事)
- 30日 習字クラブ(3階)
- 31日 ランチレク(3.5階)
- 8月4日 第二関連施設経営会議(長坂施設長 小村)採用面接(山本ゆかり専務理事)

◆若菜荘

- 7月9日 歯科勉強会
- 13日 理容の日
- 誕生会
- 食生活会議
- 14日 喫茶なかよし
- 20日 若菜荘自治会
- 21日 映画鑑賞会
- 23日 一服会
- 24日 全棟清掃日
- 28日 誕生会
- 30日 映画鑑賞会
- 各階別会議
- 4日 理容の日

◆あかね荘

- 7月6日 感染症担当 打ち合わせ
- 8日 あかねホーム会議

◆明日香

- 9日 経営会議
- 嘱託医来診日
- 自治会 誕生会
- 12日 行動援護従事者養成研修(原田)刈谷
- 15日 自立支援協議会運営会議(石川)
- 17日 成年後見審査会(石川)
- 19日 行動援護従事者養成研修(原田)刈谷
- 20日 感染症担当 打ち合わせ
- 21日 男女支援員会議
- 合同班会議
- 食生活改善委員会
- 感染症会議
- 健康診断
- 22日 親子福祉打ち合わせ
- 自立支援協議会相談支援事業所連絡会事例検討会(鈴木 曾田)
- 技能技術研修(朝倉)名古屋
- 24日 藤ノ花高等学校ボランティア3名受け入れ
- 26日 行動援護従事者養成研修(原田)刈谷
- 28日 親子福祉打ち合わせ
- 嘱託医来診日
- 30日 技能技術研修(高橋)名古屋

◆しるがね

- 7月7日 七夕行事
- おやつ作り
- おやつ作り
- 技能実習責任者講習(住吉)名古屋
- おやつ作り
- 30日 七夕行事

◆各施設共通

- 7月9日 災害時障害者受入体制基盤整備会議
- 在宅医療福祉部会議
- 10日 高齡福祉部会議
- 文化祭実行委員会
- 13日 利用者に寄り添う調整会(WEB会議)
- 14日 障害福祉部会議(WEB会議)
- 16日 リーダー研修(WEB研修)
- 17日 初任者研修(WEB研修)
- 23日 夏休み親子福祉体験実行委員会
- 28日 朝食情報交換会
- さわらびグループ経営企画会議
- 31日 米養生会議
- 看護師合同会議
- 7月9日 金山定例販売会(9日)イオン金山店
- 15日 自治会工賃日
- 20日 技能実習責任者講習(施設長)
- 21日 技能実習指導員講習(林)
- 22日 生活指導員講習(清野)
- 防災訓練
- 23日 ケーパ会議日
- 24日 ヘルパー連絡会
- 27日 イオン田原販売会(未松)
- 8月1日 金山定例販売会(6日)イオン金山店
- 4日

さわらび会後援会寄附ご芳名

令和2年7月6日～令和2年8月5日

豊橋市	林 昭氏	10,000 円
豊橋市東脇三丁目1-17	森田由利子氏	10,000 円
豊橋市高塚町神田68	田京豆腐店	5,000 円
新城市南畑74	光田屋(株)	10,000 円
豊橋市野依町字西物草12	家具の街ヨコモブランド	10,000 円
豊橋市小池町36-1	共和印刷(株)	5,000 円
豊橋市瓜郷町前川50-1	(有)東三らぼセンター	10,000 円
豊橋市入舟町21	(株)三恵薬品	10,000 円
豊橋市駅前大通一丁目55 サーラタワー	サーラエナジー株式会社	10,000 円
豊橋市野依町字山中19-14	福祉村病院職員有志	1,000 円
豊橋市東雲町	梅村敏夫氏	21,000 円
豊橋市	谷野正男氏	30,000 円
	匿名氏	1,000 円
	匿名氏	9,830 円
	匿名氏	3,000 円

たくさんのご寄付ありがとうございました。

計 **145,830円**

現在までにご寄附いただきました金額は

893,564,910円

●福祉用具紹介のコーナー

床置き式手すり「ふくよく」 水回りにもってこい

浴室や脱衣所、トイレやキッチンなど水回りで使用できる手すりです。錆びにくい、滑りにくい、水はけ良好。分解しないで、その場で丸洗いができます。手すりやベースプレート部分に滑り止めゴムがあり、段差もスロープ状になっているので安心してご使用いただけます。

(福祉村地域包括支援センター 村井)



※1割負担(580円/月)

レンタル料は事業所によって価格は異なりますのでお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

福祉サービス株式会社 ☎(0532)66-1011

マスクの寄付をいただきました ありがとうございました ～医療法人さわらび会～

7月8日に以前
ジュゲムに勤務され
ていた管理栄養士
の細井様より、布マ
スクを100枚寄付し
ていただきました。



▼その他の御寄付

(敬称略)

受取月	寄付者	枚数
4月	厚生労働省	6,200枚
5月	厚生労働省	4,000枚
	豊橋保健所	9,500枚
	豊橋市長寿介護課	75枚
	豊橋創造大学	1,500枚
6月	厚生労働省	4,000枚
7月	厚生労働省	8,025枚
	東三河広域連合	50枚

第58回 開院記念式典 ～医療法人さわらび会 福祉村病院～

毎年、開院記念式典は集会形式で行われますが、今年
は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、8月
14日、館内放送にて執り行われました。理事長 山本
孝之を始め、理事より労いの言葉がかけられました。



＊お礼コーナー ありがとうございました＊

※豊橋善意銀行を通して

▼株式会社 デンソー様※

マスク 2,000枚(明日香)

第17回夏休み親子福祉体験講座 ZOOMにて開催



8月8日(土)第17回夏休み親子福祉体験講座が開催されました。

今年は例年と違い、ZOOMを使い、リモートでの開催になりました。初めての試みで参加人数がどうなるか心配でしたが、17家族、28名の方が参加してくれました。

リモートでの体験という事もあり、利用者様とのやり取りは少なかったですが、普段の利用者様の生活の一部を体験していただけたと思います。音声が届かなくなったり、聞こえづらさが少しあったりと、ちょっとしたハプニングなどはありましたが、皆さん楽しそうに参加していただけたと思います。(岸)



2020年9月1日発行 早瀬 第569号 毎月1日発行
編集責任者 ● 谷さゆり 印刷 ● 共和印刷株式会社 定価 ● 100円

● 福祉村病院
☎(0532)46-7511

● 福祉村老人保健施設 ジュゲム
☎(0532)46-7501

● 特別養護老人ホーム さわらび荘
☎(0532)54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2

● グループホーム 白珠
☎(0532)66-0082

● 地域密着型サービス事業所 常盤
☎(0532)62-3370

● 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
ケアハウス カサ デ ローザ
☎(0532)37-1209

● 特別養護老人ホーム カサ プランカ
☎(0532)69-1701

● 地域密着型サービス事業所 カサ デヴェルデ
☎(0532)23-5552

● 特別養護老人ホーム 天伯
☎(0532)48-1113

● グループホーム フジ
☎(0532)54-5477

● 軽費老人ホーム 若菜荘
☎(0532)48-1138

● 障害者支援施設 珠藻荘
☎(0532)47-1050

● 障害者支援施設 あかね荘
☎(0532)48-2825

● 障害福祉サービス事業所 明日香
☎(0532)46-6579

● 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね
☎(0532)48-1032

● あかね荘 障害者生活支援センター
☎(0532)38-9090

● サービス付き高齢者向け住宅 シャトーローズ八町
☎(0532)52-0005

● 介護付き有料老人ホーム フェリス福祉村
☎(0532)47-2202



理事長

医療法人・社会福祉法人

さわらび会

山本孝之

編集後記

今年八月二十三日に行われた国内外のトップアスリートを招聘し開催されるセイコーゴールデングラプリ陸上に「ドリームレーン」が設けられました。これは新型コロナウイルス感染症の影響で大会の中止などで練習の成果を発揮する場を失った高校生が、国立競技場でトップアスリートと同じレベル、同じ条件で挑戦する夢の舞台です。福祉村最寄りの陸上強豪校、豊橋南高校から川島実桜選手が出場し女子八〇〇mで四位入賞、自己新記録と日本選手権出場の標準記録を切る事が出来ました。川島選手の今年の目標は十月の全国大会での優勝だそうです。川島選手の今後の活躍をお祈りします。(谷)

川島実桜 4位 2分08秒09

YouTube動画
未来スター
川島実桜選手



PDF
女子800m
結果

